

静岡県連・40周年記念山行報告書

会名	裾野麗峰山の会	報告者	加藤秀子
年月日	2005年11月19日(土・晴)		
山名	柏木山(596.1m)～734m峰～篝木山(1023.7m)		
地図	天城山(2万図に拡大)		
体力度=やや大変 技術度=楽 藪漙度=少しある 道標=全くない 展望度 =相模湾・太平洋・下田方面 三角点=三等三角点 頂上携帯=OK			
<h2>ついでに篝木まで足を伸ばす</h2>			
コースと タイム	大川先7:30—柏木山8:00～8:30～734m峰9:00—篝木山11:30～ 12:30—林道14:45		
標高差	上り=大川先約100m～篝木山1024m=約924m 下り=篝木山1024m～林道約250m=774m		
参加者	CL・後藤隆徳、加藤秀子		

柏木山(596.1m)

大川部落に車を止める場所がなく、それでも少し幅のある道路(センターラインがない)の脇を探し、目いっぱい幅寄せをしてやっと車を止める事ができた。民家の間に尾根筋を見つけ、其処からとりつく。少し平らな畑のような所を抜けると、いきなり急登が始まった。足元は長く雨が降らないせいか、乾いた土状で下草もない。きれいな疎林で歩き易く急登も苦にならないくらいだ。地元の役場の広報が耳元によく聞こえる。ただ一つ難点は、樹木の丈が大きく展望はできない。はっきりとした間違えようもない尾根筋をクックツと登ると平らになってあつけなく頂上着。三角点がポツンとあるだけで山名板はない。天気あまり良くないせいか、少し暗っぽく展望もない頂上は淋しい。写真をとって尾根続きの先に進む事にした。柏木山までは全く問題はない。

734m峰

かすかな踏み後?を辿って734m峰に向かう。稜線から背骨の肋骨みたいな張り出しの尾根筋に入るが、わかり易く此処も直ぐに到着。東の尾根を下るつもりで歩き始めたが、柏木山にいた時から気になっていた篝木山をあらためて振り返ってみる。山頂には鉄塔が立ち、中腹を切るようにガードレールが見える。多分頂上にまで林道が通じているんだろう。デーンと構えた山頂と、未だ消化され切っていない体力に、見過ごして下るわけにはいかないと踵をかえす。

篝木山(m)

先ほどの稜線に戻り、其処から更に右手先に進む。少し下ると林相が変わり、大きな木は疎らで、木と木の間は背丈の低いヤブっぽい雑木になった。ツンツンと跳ね返るような竹笹を掻き分け、茨に引っかかり、道なき道を猛進する。藪こぎに一生懸命で気がつかなかったが結構な急登だ。と、ガードレールにぶつかった。「やっぱり～！」道があるのに、なんで藪こぐ?道路を突っ切り、又藪に突入。それを3回繰り返すと頂上少し手前の道路にポンと出る。最後にアスファルト道路を3分歩き頂上着。道路を挟んで西側は、踝位までしかない背

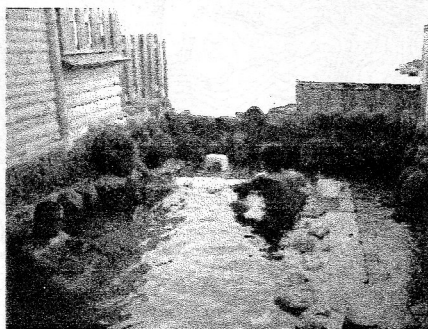
丈の低い笹が一面をビッシリと覆い、その先の眺望が素晴らしい。「春の海 ひねもす のたり のたりかな」思わず口に出るくらい、海がキラキラと長閑な趣を見せていた。東側は整地をしてあり、鉄塔が立っている。道路の行き止まりは腰まである枯れすすき？の群生だ。とにかく広い。ところが、枯れすすきの中に三角点がないかと探しに入ってみて驚いた。何とまあ白いティッシュが其処かしこに落ちているではないか。うっかりすると、とぐろを巻いた「黄金」を踏みそうだ。あわてて道に戻ったが何とも空しい。

下山は東尾根を下る。鉄塔を右から回りこみ、下り道の導より少し手前の藪に入った。そこで偶然三角点を見つける。この場所では多分探すに苦労するだろう。其処から途中までは藪はなく林相はとてもきれいで、残り紅葉も目を楽しませてくれた。中間は又藪の突入で道も分かり難い。とても一般向きとは言えない。最後も強引に道路に下り、そこから車まで約15分位で到着。地元の方も596.1mは「柏木山」と呼んでいる。



柏木山の綺麗な林床

大川「磯の湯」



箒木山の三角点



